

歴史講話・定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

コロナ禍の中にも春は到来、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナ感染予防のため中断しておりました定例研究発表会を3月より再開いたしますのでご案内いたします。なお、感染予防のため、会員以外の方は人数を制限させていただきますので、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

日 時 令和3年3月27日(土) 13:00~15:45
会 場 佐世保市立図書館3階視聴覚室(公共交通機関でお越しください)
主 催 佐世保史談会
参加費用 200円(資料代)

お問い合わせ先 佐世保史談会事務局 廣田 TEL32 4464

(1) 歴史講話

13:05~13:45

話 題 「朝臣」となった幕臣

— 旗本、今福松浦家の場合 —

講 師 秋山 俊雄(あきやま としお) 会員

(2) 定例研究発表会

14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 渡り陶工伝

— 東北陸奥国に渡っていった渡り陶工 宇吉の場合 —

発表者 副島 邦弘(そえじま くにひろ) 会員

本州最北端、青森県津軽の地に 幕末に近い時期 肥前や筑前から陶工が渡っていった。筑前上須恵の陶工五郎七は 津軽藩窯悪戸焼の磁器化の技術を伝えた。それに協力したのが肥前の陶工宇吉であった。この二人によって悪戸焼が完成した。では 陶工宇吉がいつどこに渡って その技術を広めていったのか その生きざまを追うことにしたい。

